京城新報

●新聞料　金拾五錢●一ヶ月金壹圓二錢●三ヶ月金三圓●六ヶ月金六圓●一年金拾參錢
●廣告料　▲一回金三十錢▲五號活字十行▲四號活字十四字詰一行金四十五錢▲一字金一錢
●陰曆　二月十三日

發行編輯兼印刷人　由上宅雄
京城西署西門通
發所行　京城新報社
電話六六二番

日露の將來（中）

（ソーウオエ　ウレミヤ所載）

米國の移民計畫に挫折せる日本は然らば英國と戰ふ如き事を爲す可きか日本は現今ポリネシヤの殖民地の何れかを奪取し或は英人を印度より驅逐せんとするが如き事を思慮す可きか現今の所にては日本は更に斯の如き事を思念せざるなり故に日本は自國の爲に甚だ便利なる協約を以て英國と同盟せり左れば日本は其の親縁を英國の領地に向くる如き事なきや勿論なり

清國に於ては英米獨佛等歐洲列國の利害關係大に錯雜し居るを以て日本が清國を征略するは困難にして且つ危險なるは日本人の自ら認ゐる所なり果して然らば日本は其征略的矣想を何處に向く可きか日本は抵抗力の最も弱き方面より即ち露國ー日本が何等の抵抗を受けざる西比利亞の北東全沿岸と樺薩加全部に對し其の征略の妄想を向くるや明かなり是れ該地方に露國は一兵も配備せず且つ眞摯なる軍隊を派遣する事も不可能なるを以てなり將來に再び日露戰爭の勃れざる可き事と其の戰爭の條件とは後段に論述す可し今先づ英國は此の戰爭の再演に關して如何なる思想を懷き居るやを窺ふ可し

英國の直接の利益とする所は何んぞや英國は日露戰爭に依りて如何なる影響を受けたるか英國は日本に對して物質上の助力さへも與へて其の慣手段を以て他人の手を以て燒栗を出さしめ充分の成功を見たるなり我等は中央亞細亞に於ける凡ての希望を喪失し阿富汗斯坦は唯だ是れ英國の領地と爲りて我が露國の印度斯坦の國境に對する運動の如きは最早想ひもよらぬ事となり了れり英國は此の方面に於て其の目的を達せり日露戰爭の結果は英國の想ふ壺に當れるなれり然し英國は其の同盟國なる日本が然かく顯然たる勝利を得べしとも想はざりしなり又英國は露國を以て左程までに劣弱爲すなきの國なりとも想はざりしなり印度に對する露國の危懼は先づ拔數年は除去せられたり然るに俄然地の底より湧き出でし如くに新なる危懼ー即ち日本の眞摯なる危懼は現出せり英國の治政の下に在りて今日まで靜平なりし印度は日本の干渉に因りて動搖しはじめたり此の動搖は益々甚だしくなる可く且つ動搖の全く鎮靜するが如き事なかるべし早晩英國の印度に於ける主權の景期を來す可し然るに此に加ふるに此の日本の新なる危懼は現出せり英國の治政の下に在りて今日まで靜平なりし印度は日本の干渉に因りて動搖しはじめたり此の動搖は益々甚だしくなる可く且つ動搖の全く鎮靜するが如き事なかるべし早晩英國の印度に於ける主權の景期を來す可し然るに此に加ふるに此の日本の新なる危懼は現出せり英國の治政の下に在りて今日まで靜平なりし印度は日本の干渉に因りて動搖しはじめたり此の動搖は益々甚だしくなる可く且つ動搖の全く鎮靜するが如き事なかるべし早晩英國の印度に於ける主權の景期を來す可し

△金融機關　目下間島に流通する貨幣は日貨即ち第一銀行手形、韓國小銀貨、韓銅錢と吉林省發行の官帖及び小銀貨の外に若干の露貨を見るも第一銀行券の信用次第に加はり清韓人の別なく之を好むの傾向あり統一回あり四司より八日にて清沢港に達すべし是より會寧を經て龍井村に至る陸路約三十五里の間は四五日を要す可し經便鐵道に依るものは富寧の日本旅館に一泊して會寧より間島に入るには必ず疑具食器等の携帶を要す龍井村には赤萩旅店あるも地を視察せんには韓馬牛車支那馬車に依らざる可からず派出所設置當時にありては內地旅行の危險困難少なからざりし其後は一般に平穩なれば今春以後の間島視察は左程の難事にあらざるべし云々（終）

間島の現狀（續）

小川理學士の談

歩を附して支那貨幣と交換するの不便を感せし事ありしも現今は信用の程度却て支那貨の上にあるものゝ如し露貨に至りては局子街以外には目下殆んど之を見ず然るに現今支那商人に兩替店及び銀行業を營むものなく取引ある他地方の商店と好意上爲換を組み得る事あれども殆んど例外にして爲換兩替等の機關は全然存在せざるの結果植木商店の如きは日清商人よりは貨幣交換の一機關たる姿なり斯る有樣なるを以て間島の產業開發上には爲替、荷爲換、兩替及び貸金の金融機關を設立するの必要ある可く又商業として銀行業は目下最も有望なるものゝ一なり

△交通　交通の不便なるは間島の發達を妨ぐる最大原因にして清津、會寧間五十餘哩の輕便鐵道あるも手押式にして戰役中の急遽に係るものなれば運搬上の困難危險少からず之を一手に受負ひたる和清洋行は一時營業中止の悲境に陷りたる事すらあり此線路には茂山嶺ありて冬期積雪の際輕便線は勿論牛車馬車の交通も頗る困難にて夏期は霖雨每に沿線所々に汎水洪溢の虞あり會寧以北は龍井村迄十三里の間牛馬車の交通あるも瓦良哈嶺の坂路は冬期の交通困難なり現況斯の如くなるを以て間島の穀物は之を馬車にて清津に輸出すれども輸入す可き雜貨なきと同時に運搬費の多額なるが爲め殆ど收益を見ざるの有樣なり道路の改築、鐵道敷設は最も必要にして少なくとも清津會寧間の輕便鐵道を改修し一層運搬力を增加して貨物の出入を便ならしむるに非ざれば間島の開發を妨ぐること非常なるべく又清津港は本年四月一日より開港場となれども內地陸路の便を得るにあらざれば將來の繁盛は到底期し難かる可し

△人口　現在住民の數は韓人戶數一萬六千人口七萬七千淸人戶數三千七百、人口二萬三千餘なるが未耕地の開發に伴ひ更に數十萬の人口を容るゝの餘地あるべく煙草麻等の有望なる特殊の作物を盛に栽培せば農產物の富源亦頗る大なれべけれども之が經營開發の道を講ずるは最も必要の事業なる可し最後に邦人にして間島に旅行視察を爲さんとする者に對し注意せんに時期は四月より十月の間にある可く目下間島への旅行には大阪、神戶、字品、門司、釜山、元山、城津、清津を運絡せる中越汽船會社の定期船は每週一回あり門司より八日にて清沢港に達すべし是より會寧を經て龍井村に至る陸路約三十五里の間は四五日を要す可し經便鐵道に依るものは富寧の日本旅館に一泊して會寧より間島に入るには必ず疑具食器等の携帶を要す龍井村には赤萩旅店あるも地を視察せんには韓馬牛車支那馬車に依らざる可からず派出所設置當時にありては內地旅行の危險困難少なからざりし其後は一般に平穩なれば今春以後の間島視察は左程の難事にあらざるべし云々（終）

暴徒に關し賞詞せられたる人々（一）

原州守備隊配屬韓國近衛步兵隊

陸軍步兵正尉　金　亨

陸軍步兵正尉　四十二名　外

右は明治四十年十一月原州守備隊へ配屬以來常に偵察嚮導等の勤務に服し專日なく困苦缺乏に堪へ善く其任務を盡し我討伐隊の大の賞賞を受けたるのみならず谷風腹寺其他數回の討伐及偵察に於て其功績少からず依て賞詞を附與す

明治四十一年一月十六日

暴徒討伐賞詞（二）

旌善分遣隊

步兵第五十聯隊第四中隊

陸軍步兵伍長　池田　巖

陸軍步兵一等卒　山浦岸太郎

陸軍步兵上等兵　高橋善太郎

陸軍步兵一等卒　中野龜一

陸軍步兵二等卒　長澤德治郎

同　同　寺澤和三郎　島田一男

右は旌善分遣隊として本隊と遠く離隔し四面悉く賊たるが如き狀況にあり附近の警備に任じ明治四十年十二月四日約五百名の暴徒不意に旌善を包圍し尙ほ旌善南面一帶の高地及邑內に向て劇烈なる射擊を開始せり分遣隊は前日來の疲勞其極に達せず直に起て勇戰奮鬪するも賊は俄り容易に退却せず茲に於て彈藥を節儉して戰鬪を緩くし遂に之を擊退したる動作は沈着勇敢にして能く己れの任務を盡し亮に他の模範となすに足るものと認む依て賞詞を與ふ

明治四十一年一月二十日

信川守備隊步兵第五十二聯隊第五中隊

陸軍步兵二等卒　小野寺岩吉

右は明治四十年一月以降信川守備隊に屬し暴徒討伐に從軍し屢々戰功あり就中明治四十一年一月九日載寧郡飛龍峴附近に於て賊魁禹成昌が率ゆる約百名の賊を攻擊するや右翼隊に屬して勇敢に敵兵を擊破し禹成昌が最後尾にありて勇敢に敵兵を指揮し之に追及し殺したる動作は頗る賞賞に値するを見るや之れ苦鬪の後遂に賊魁を刺殺したる勇敢なるものと認む依て賞詞を與ふ

明治四十一年一月二一日

賞詞

原州守備步兵第五十一聯隊第一中隊

陸軍步兵中尉　山本　果　外五名

右は原州守備隊に屬し屢々暴徒討伐に從事し就中昨年十二月十四日堂峴に於て約三百の賊を攻擊し巨魁韓基錫以下約百二十を殺傷し越ゆて十九日鳳腹寺に於て約五十の賊を攻撃し百數十名の賊を夜襲し多數の銃器を鹵獲し同日倘ほ賊を搜索して閔背嶺の率ゆる約二百五十の賊と倉村に於て衝突し交戰五時間之を擊破し其約八十を殺し多數の鹵獲品を獲たるは其討伐の計畫適切にして行動亦頗る勇敢機敏なりと認む依て賞詞を與ふ

明治四十一年一月二十日

京城各商店商況

二月中

△玄米、白米　舊正月前は韓人側の玄米賣出し多く隨つて相場も多少下落の傾向なりしが本月に入りては韓人側舊正月の爲め田舍よりの出廻り等更に無く加ふるに仁川東洋貿易會社、其他盛に外國輸出米の買入を爲したるに付き一時非常に相場の引揚を見たるも下旬に入りては輸出米の買入も中止の姿となり且つ日を追ふて解氷春暖に向ふと共に出廻り弗々あり相場も幾分下落を見るならんと豫想せり（樺井精米所）

△日本酒　前月に比し賣行好況なるも値段に於ては變動なし元來本品は幾多種類の輸入を見るも其中菊正宗、白鶴等最も賣行良好なり

△味噌、醬油　本品は九州地方を始めとして千葉縣地方のもの賣行良好なるも目下仁川株式會社にて釀造の龍印醬油は各地方軍隊側に需用多く爲めに目下好況を呈しつゝあり中にも大樽より小樽の賣行良好にして値段に於ては前月と同じ（酒井商店）

△洋、麥酒　前月に比し幾分活氣立ちしも各輸入元冬期の貯藏品僅少なりし爲め本月下旬に至り各店何れも現品拂底の狀態にあり之に反し洋酒は目下時候柄賣行不況にして各直輸入元に在つては貯藏品多く値段に於ては何れも前月に同じ然れども三月に入らば麥酒は內地釀造元値段の模樣なるにより當地にても一般に各店とも箱に付き一圓內外の高價を呈するならん（龜屋商店）

△砂糖　賣行相應にあり內地相場は幾分上騰せしも當地に於ては變動なし是れ各店共幾分の持合品あるに因るならん（高瀨商店）

△麥粉　賣行弗々ありて相場も變動なし（同店）

△大、小麥　出廻り甚だ少なく始終拂底の狀態にあり市場取引も亦不況を呈せり値段に於ては前月と變りなし（古追商店）

△洋、金巾　賣行弗々ありて相場は銀相場に連れて時々變動ありしも全體に於ては保合の姿にて本期間は清、韓人共舊正月後十五日間の休業期なりしも以て一般に取引少なく從て値段に於ても前月に比し反に付き二十錢內外の下落を呈せり

△和金巾　目下賣行面白からず相場は前期と變動なけれども一般に弱含にして早晩幾分の下落を見るならん

△紡績糸　本月中は內地三品、現物兩相場共追次下落の爲め當地に於ける相場も漸次下落し從て賣行面白からず特に地方取引の爲め本品は舊正月に連れ韓人の入京者皆無に近き有樣なれば賣行減少せり然れども三月に入らば多少の活氣を見るならん（高瀨商店）

△石炭　本月に入り前月に比し幾分の賣行減少せしも目下當用期中の事とて賣行良好なり亦た値段に於ても前月と大差なし（林田商店）

△ペイント類　各所の工場未だ工事始めに至らざる爲め賣行捗々しからず値段に於ても前月と變りなし

小　說

紘のみたれ

（九十五）

永井櫻園

勇五郎が酒食に耽り、山田が結婚の準備に心を惱め、清之助が肩で呼吸する身重になる中に、早くも半歲は過て神無月の中旬となつた。

清之助は、綿琉球の袷に、銘仙の華美な書生羽織を被り、襷の解を直しもあへず、朝未明より山田を訪れて、まだ臥床に在りし山田の傍に亂次なく坐つた、其姿の、優に風情あるを疑乎と瞠める。

「だつて、昨夕は終夜てボッチリとも爲ないんですもの。」

襷の解毛を搔上げる。

「奈何して、氣分でも惡かつたのかゞ」

「氣分は惡かアありませんけど、種々心配で堪らないもんですから……。」

と、浮立たぬ顏色。

「何か又、心配事でも出來たのか。」

「心配事つて、大川が愈々歸つて來たさうです、昨夕れ師匠から些と聞いたもんで、歸りがけに寄つて御相談爲やうと思ひましたけれど、モウ深更もあつたし、少し寒氣が爲たもんですから、寄らないで歸宅ましたの、だもんですからオチ〳〵眠られないで、斯麼に早く出掛て來ましたの。」

「……ふむ、到頭歸つて來たか、それぢやあ前が心配するも有理だ、でモウ何か結婚に就て話でも始まつたのか。」

「大体はモウ分り切つてますけれど、私が御相談申すのは大体の事ばかりぢやありません、先方が斯う言へば此方は何う云ふとか何から何までの詳しい御相談なんです。」

「イヤ其なら分つた、私も豈夫の時には斯う爲やう位は、これまでにチヤンと思慮へて置いたから、詳しく私の考を話して見やう、其上で不可い事は相談爲るが可いがしかし顏でも洗つて寛り話すから、お前は氣の毒だが床を納つて下ないか。」

「本當に、疲衣のまゝで寒かつたでしやうぢやア床を納つて掃除して置きますから、お顏を洗つて入來しやいませ。」

「ぢやアこつて來やう。」

と、室を去つたが、やがて入つて來た頃室內は奇麗に掃除が出來て、清之助は茶を入れるばかりにして待つて居た。

相談等は如何なる相談を爲るであらう。

云ひつゝ、ムク〳〵と床を放れて寢衣のまゝ膝を正して坐る。

「あら、那樣事なさると風邪ひきますわ。」

と、想つて傍に脫いである平常着を、後から被せかけて、又元の坐に復し

「まだ貴方、一昨晩歸つたばかりださうですから、彼の方の話は何にもありませんけれど、丁度約束の六ヶ月目に歸つて來る所を見ると、いづれ近日云ひ出すに相違ないと思ひます。」

「そりやあ無論其意で歸つて來たに違ない。」

「ですから何時言、出されても驚かないやうに此方の手筈を極めて置かなきやイザと言ふ折困るでせう、だもんですから彼方から緣談の出ない中に、何う何う爲やうと云ふ洋しい御相談爲て置かうと思つて、それで出掛て來たんです、何う云ふ風に爲たら宜いんでせう。」

「何うと云つて大体は之れまで相談した通

（第二種郵便認可）　明治四十一年三月十四日　京城新報（土曜日）　第壹百一號

京城新報

統監府に問

統監府設立以來吾人の記憶せる政治成蹟を舉ぐれば、保安規則を制定して浮浪輩の驅逐を計りたることなり、上陸證明規則を發布して私有權の侵害を爲したることなり而かも土地經營者が該規則に不平を訴へたりしことを少しとせず荒蕪地條例並に鑛業條例を發布して利權の分配を謀りたることなり、而かも荒蕪地條例は發布以來僅かに第一號の許可を與へたりしのみ

官制を改革して未開國の行政事務を改革せんとし、許多の官吏を登用して朝鮮官吏の待遇厚きに至ればしめたることなり、就中其尤も顯著なる政治は所謂浪人を逐ひ、朝鮮通を斥け、久しく朝鮮政府に仕へ、永らく此國土に住居したるものを放逐排斥したる一事なりとす、曾て佛國が安南の前經營者たりし商人、旅行者、宣教師を放逐し海外政治を以て政權革新の機關となしたりしが如く、力めて此舊分子排斥に傾注したりしことなり、而かも斯る矛盾せる海外政治が何等の効能無くして却つて不便利となり、不評判となり、孤立となりて異大の失敗を招くに至りしことは、統監府の當局者が今に於て深く回顧する處なるべし。

其著しき事例として之を擧ぐれば一進會は韓人一部人士の政社にして戰役中は彼我相便益を通じたりしと雖も、保護政廳の機關となり御用政社となりしが如きは頗る不都合の次第なり、後日に至りて自衛團となりては却つて其弊害の大なりしに驚き多數の良民をして益惑を懷かしめたりしが如きは其顯明なる例なるべし、或は耶蘇教徒の勢力を見ては宣諭使を任命して其不可なりしを後悔し、殆んど天下秀才の府たる統監府をして斯る不成功を遂ぐるに至りしは、全く國勢を了解せず、國情を了得せざるものゝ打算と謀策と謂はざる可らず、是等の小失敗は敢て保護政府の輕重得失を論ずるに足らずとするも茲に吾人が問はんと欲する問題は帝國の利害に係る極めて重大なるが故に特に列擧して問はんとす

保護國に對する母國の財政負擔は今日に於て計上するも三千萬圓以上に達せり、母國政府が其國家經濟の調理に腐心せる實に尋常ならず、戰後に於ける財政の困厄は今や全國民をして憂慮せしむるの秋に際して、我保護政廳は不急の工事を起しては半途にして繰延べとなり、而かも保護國自らの財政計畫は今尚ほ血肉を裂くの感を以て立替金を以て之を補充するの狀態に在り、苟くも其國防の大權を協約によりて獲得する以上は其國防の費を保護國より收入すべき計畫は財政の第一案として立てざる可らず通信交通の費自ら然りとす、官制を擴張し官衙を膨脹せしむるは行政の進歩に相違なしと雖も、其後緩急輕重を計らざるが故に行政官吏は日に增加するのみにて政費の節減は得て望む可らず、政策よりせば國勢及び民情に相應しからざる行政改革は無益にして財政上よりしては無用の改革たり、吾人は何故に保護國の爲めに多大の負擔を爲すの義務あるか、苟くも特別會計の財政策を立てゝ而後已むを得ざるの立替金補助は尚且忍ぶべしと雖も、漫然今日の如き財政計畫の下に於ては不安を思ふのみ。

次ぎは時局の發展なりとす、今や暴徒鎮壓は我國民に取りては飢餓せるものゝ哀願なり、鎮壓の手段を講ぜずして鎮壓の機會を空待せしむるは今日の統監府なりとす、苟くも責を韓國に分ちて之を鎮撫せしむるも、偉大なる帝國、強大なる國家の代表機關にして之を制平するの術を知らざれば則ち辭し去るのみ之を知るに於ては斷行勇進せざる可らず。

若し夫れ國境の拓殖、交通の經營等其の當に爲すべき義務は少しとせず、只だ其漢城政府の操縱に腐心するが如き、返へす返へすも帝國が大なる發展と國民的勢力擴張の上に退算少しとせず、我當局者は現今帝國の形勢に驕み、大に奮闘する處なかるべからず。

▲排日法を要せず

日本政府が渡航制限をなしてより來國に來航せし日本人は僅々七名に過ぎず是れ日本が忠實に米國との約束を守るするものにして更に排日的法律を制定するの必要なきを示せり（十二日發）

東京電報

▲葡清領海交渉

葡御所は清國が辰丸の拘留したる地點を以て清國の領海と主張せるに對し駐清代理公使をして北京に向つて抗議せん爲め外務衙門と交渉中なり（十三日發）

▲三稅廢止案否決

島田代議士提出の三稅廢止案は本日の議會に於て出席者三百二十二名の内反對者二百名にて否決せられたり

▲辰丸沒收の決議

廣東市民大會は辰丸沒收の決議をなし之れを以て北京政府に迫るべしとの報あり

▲西國皇室御訪問

久邇宮邦彥殿下には陛下の御名代として昨日伯林を御出發在らせられ西班牙國皇室御訪問の爲馬德里に向はせられたり

組育電報

農商工部の水產調査

農商工部は今回漁業法發布の準備として全國水產事業の調査のため統監府と共に約一萬圓の金を投じて全國各地に技師を出張せしめたる事は既報の如くなるが今其の調査の要項を聞くに左の如し

甲、漁村浦に於ける一般調査

一、漁村浦の位置、地勢、風景、氣候、山河港灣の形勢并に地氣候及山河

二、漁村浦及島嶼が海面に接觸せる狀況并に其海面に於ける潮流及び潮汐干滿の狀況

三、山林田畑宅地未墾地の現狀及び其の見込反別、宮民所屬の別、土地賃貸價格利用法

四、住民の戶數人口概計、職業種別、人情風俗生計狀態及び其難易

五、生活物資の需用供給狀態、飲料水の有無及び其供給方法

六、海陸交通の便否、通信機關の有無

七、衛生教育に於ける設備の有無

八、生產物の種類、產額、販賣方法及び其の機關并に商習慣

九、輸出入品の種類及び其集散狀況

十、漁村浦に於ける行政機關の存否其名稱及び其の沿革の概況

十一、漁村住民又は通漁者に對し行政上若くは公力に依り保護取締其他の施設を要すべく認めらるゝ事項及び其理由

十二、其他必要と認むる事項

乙、漁村浦に於ける漁業調査

一、水產の種類及び分布并に潮流派流の關係

二、漁採物の種類及び漁採の場所

三、漁場の位置、形勢、水深、潮流、派流の種類及び其營業、海底概況取及び周圍の狀況

四、漁業種別、漁具、漁法、期節及び其の船數并に漁業者、在住者及び通漁者の數

五、定置其の他水面專用漁業の場所及び使用の慣行

六、前項漁場の賃貸賃借に關する慣行、手續及び其普通の價格又は料金の程度

七、漁場の處理、產額、價格、販賣機關、販賣法及び販賣先き地名并に販賣に關する慣行

八、餌料需用供給の便否及び其の狀況

九、船舶定繫所の廣狹、水深、適否及び設備の有無

十、魚村林の有無及び其の設定の要否并に所在個所及び其の廣袤

十一、漁業種別による營業資金及び其の組織の內容并に其の經營が組合組織の場合に於ける出資方法

十二、前項の經營による漁獲物又は其販賣金配當方法

十三、漁業者の資金融通に關する狀況

十四、從業者其他人夫の雇入難易及び慣行並に其の普通賃金

十五、漁業者公費負擔の種別及び其の納入狀況

十六、漁業者副業の種類及び其經營方法

十七、漁業上の差違及び其特長又は短所並に韓人側の日本人に對する感情狀態

十八、日本漁業者の韓海に於ける漁業及ぼせし改良發達の事實及び其の他自然の指導を加へたる事實

十九、現在漁採中又は漁採せざる水產物及び其利の認めある漁業の種類、場所、漁期、漁具、方法其他經營方法（未完）

水原農林學校の近況

目下本科研究科速成科の三科を置き本科は農學林學を兼修せしめ研究科は本科の卒業生を收容して農學或は林學を專修せしめ速成科は之れを農、林、獸醫の三科に分ち各科を速成的に專修せしむるものにして修業年限は本科二年研究科一年速成科一年なり職員は校長本田博士以下專任五人及び農商工部より道家、柳田、岡の三氏並に模範場及び各農學林學獸醫學を教授するため一昨年九月創設せられたるものにして目下本科研究科速成科の三科を置き本科は主として韓人巡査を以て組織せる巡査隊三隊を特設し忠淸、咸南、全南の方面に於ける暴徒の討伐に從事せしめしが巡査は右の各地方に募集し一隊を約五十名とし軍隊討伐と協力討伐に努めつゝありて其の成績極めて良好なりと云ふ

韓國航路復舊

數年間縣費の補助を以て唐津港と韓國間の航海を爲しつゝありしが昨年三月を以て廢止となりて不便少なからず昨年佐賀縣會に於て韓國航路補助費一萬圓を可決し唐津間の岸川善太郎氏に對し四月一日より唐津より伊萬里、鎭海、釜山、木浦、群山、仁川、鎭南浦に至る航海開始を命令せり同氏は此命令に從ひ東熙丸（六百四拾五噸）を以て月二回半航海するとゝし同船は本日午後二時唐津港を出發して韓國に向け試驗的航海の途に就けり

仁川開港祭と同志會

開港廿五年祭に就き民團理事者より實業同志會に交渉する處ありたることは既報の如くなるが今其摸樣を聞くに初め民團理事者は同會役員の中美濃谷八田市三伊藤の諸氏を招き交渉を開始せしも結局評議員會に於て附議することゝなり加藤會長も不在なるを以つて美濃谷氏の名義を以つて緊急招集をしに時を移さず來集し午後七時開會同十二時散會せるも其結果會として其事件に與る能はず同會の趣旨に反するを以て固く謝絕し個人としては可及的盡力することに決せりと云ふ

仁川運送組の好績

去る一月一日設立されたる仁川運送組は其後の成績極めて好く京城、平壤其他の如きも續々之れに倣ふて同樣の組合を組織するに至れるが從來の如く計算を各個別にするは執務上不便少からざるを以つて將來は目下在久留米日本運送株式會社の採用して好結果を博しつゝある共通計算制を執る事となるべしと

郵便差出方の注意

近來小包郵便物に書狀を合裝したる爲の罰金に處せられ又は日本國に宛て烟草を郵送せんとして該郵便物を還付せらるゝもの多き由なるが元來小包郵便物には無封の添狀又は送狀のみは合裝することを許され居るも苟も通信文の性質を有する書狀は封の有無に拘はらず合裝することを禁ぜられ居るを以て若し之を合裝したるときは其の小包郵便物は差出人に還付せられ其の送達の目的を達することを得ざるのみならず差出人は拾圓以下の罰金に處せられ又日本國へ烟草を輸入するには自用又は標本にして烟草專賣局の許可を受けたるものに限るを以て若し其の許可を受けずして烟草を郵送せんとしたるしるは其の郵便物は差出人に還付せられたる上最早該郵便物を差出したるときに納付したると同額の還付料金を徵收せらるべき筈なるに依り小包郵便物を差出さんとする時は能く此等の點に注意し右等反則の行爲の爲め處罰其の他の損害を蒙らざる樣心掛くること最も肝心なり因に郵便官署に於ては書狀を小包郵便物に合裝せりと認めたるときは差出人に其の開示を求むることあり又日韓商國間に送受する小包郵便物は總て稅關に於て開封し在中品を一々檢査するを以て若し前記の如き反則物品封入あらんか必らず發見せらるべしと云ふ

●連絡船の遲着

關釜連絡船會下山丸は一昨日午後八時に馬關を出帆すべき豫定なりしも都合に依り出帆遲延し昨日午後六時釜山に入港したるを以て郵便物も自然延着することゝなりたれば本日は日本よりの郵便物は配達なしと云ふ

軍司令部會議

一昨十二日軍司令部に於て開會したる事柄を漏れ聞くに右は增派憲兵配置及び暴徒鎭壓に關する事項を審議したるのみにして列席者は長谷川軍司令官牟田口參謀長岡崎中將村田少將塚吉少將明石憲兵隊長其他各參謀部官及び山警視總監松井警務局長等なりしと

暴徒討伐情報（軍司令部着）

△浦項守備隊報告　慶尙北道浦項守備隊より出したる上等兵以下七名は二月廿九日興海郡內に於て永川郡方面より來れる約四百の賊に遭遇し之を散亂せしむ賊の死五傷二十同日討伐隊は更に三月二日同郡內に於て約百五十の賊を襲ひ其七を殺し三十を傷けたり

△延安守備隊報告　黃海道延安守備隊は討伐の爲め三月四日白川に到り下士以下三名を延安に殿置せしめたるに途中延安の東北方約二里水原橋附近に於て約八十の賊と戰ひ其一を殺し三を傷け守備隊の主力は六日白川東南方約四里に在る菊根里に於て約五十の賊と戰ひ賊魁以下四を殺し多數負傷せしむ

△陽德守備隊報告　平元街道上陽德守備隊は三月五日同地西南方約五里地境里に於て約八十の賊を攻擊し其五を殺せり

△騎兵隊報告　派遣騎兵第一中隊の討伐隊は三月九日羅州北方約四里竹山附近に於て約六十の賊を襲ひ廿七を殺す

△注山谷の賊　京城東南方松坡鎭にある騎兵停止斥候兵以下は三月十一日同地西南方約二里注山谷附近に於て約三十の賊と遭遇し增援兵と合し賊を追擊したるも途に其踪跡を失す

●特設巡查隊の成績

內部警務局は襲、暴徒討伐のため各道警察討伐隊の外に主として韓人巡査を以て組織せる巡查隊三隊を特設し忠淸、咸南、全南の方面に於ける暴徒の討伐に從事せしめしが巡査は右の各地方に募集し一隊を約五十名とし軍隊討伐と協力討伐に努めつゝありて其の成績極めて良好なりと云ふ

韓國航路復舊

數年間縣費の補助を以て唐津港と韓國間の航海を爲しつゝありしが昨年三月を以て廢止となりて不便少なからず昨年佐賀縣會に於て韓國航路補助費一萬圓を可決し唐津間の岸川善太郎氏に對し四月一日より唐津より伊萬里、鎭海、釜山、木浦、群山、仁川、鎭南浦に至る航海開始を命令せり同氏は此命令に從ひ東熙丸（六百四拾五噸）を以て月二回半航海するとゝし同船は本日午後二時唐津港を出發して韓國に向け試驗的航海の途に就けり

仁川開港祭と同志會

開港廿五年祭に就き民團理事者より實業同志會に交渉する處ありたることは既報の如くなるが今其摸樣を聞くに初め民團理事者は同會役員の中美濃谷八田市三伊藤の諸氏を招き交渉を開始せしも結局評議員會に於て附議することゝなり加藤會長も不在なるを以つて美濃谷氏の名義を以つて緊急招集をしに時を移さず來集し午後七時開會同十二時散會せるも其結果會として其事件に與る能はず同會の趣旨に反するを以て固く謝絕し個人としては可及的盡力することに決せりと云ふ

●仁川運送組の好績

去る一月一日設立されたる仁川運送組は其後の成績極めて好く京城、平壤其他の如きも續々之れに倣ふて同樣の組合を組織するに至れるが從來の如く計算を各個別にするは執務上不便少からざるを以つて將來は目下在久留米日本運送株式會社の採用して好結果を博しつゝある共通計算制を執る事となるべしと

郵便差出方の注意

近來小包郵便物に書狀を合裝したる爲の罰金に處せられ又は日本國に宛て烟草を郵送せんとして

近事片々

▲●拾名　取實細工は流々仕上を見よの臺解者容さなり今や韓官の橫着跋扈に手右摺る

▲●蠟茅　の擧動を制せんとすれば反對に伊公を擔ぎ韓國本位を振廻され日官ギャフン

▲●韓官　の擧動斯の如き最初より分り切たる事や更愚痴言は止め疾く鷹懲鞭撻が肝腎

▲●日本　外交柔軟僻は何處にも茲處にも馬鹿にされチャンにもヨボにも腹を見透さる

▲●辰丸　事件にしても斯迄の大問題となすに及ばず談笑の間に決すべきもの歯痒き事

▲●帝國　現在の實力ありて到る處に失敗のみ繰返す寧ろ外務省なるに若かずの感起る

▲●伍廷　芳華盛頓に於て日本は最後の手段採強硬の態度は取得すと放言す深慨千萬也

▲●現時　の外交狀態ではチャンやヨボ等に馬鹿にさるゝも無據外交刷新け帝國の急務

▲●外交　軟弱の爲在外邦人不利益を蒙る甚し外交機關はムで邦人發展の妨害を爲す甚

▲●獨帝　書簡事件大問題となる獨帝小細工平和に波瀾を起さしむ帝の存處間髪絕へず

▲●一昨　も靜居し居ざるは獨帝露朝は尻拭に煩殺されむと之を思と英皇は流石重味あり

▲●鞭弗　利加にある獨領の一島海水の爲に境滅しつゝありと之れ獨逸衰運の兆なる乎

▲●該島　は曾て比斯麥克が强剛の談判により英の手より取れる者壞滅は何を意味す乎

▲●石川　理學博士人が猿から進化せる證據を乘黑人と白人の差は猿と黑人の差と同じ

▲●人類　が猿の進化とは久き議論科學の研究進歩して先祖は猿殿と相場が極りそうも也

▲●尾張　國に犬と猫との混血兒生れ体は父の犬に似て眼と聲は母の猫に似たりと奇也

▲●母子　共に健全異種動物の交尾は絕体不可能然に斯奇事あり造化の戲か何かの兆乎

外國貿易旬報

隆熙二年三月上旬　關稅局調査

輸出品價額

區分	本旬分	一月以降累計
輸入品價額	二六六、六五圓	二五九、三六七
輸入品價額	六六、八六四	六六、一二三
輸入品價額	八九七、七四九	八、七六、六六九
輸入品價額	六六、一二三	六六、一二三
輸入品價額	八、七六、六六九	八、七六、六六九

輸出入品價額

港名	輸出	本旬	輸入	本旬
仁川	四九、一八二圓	三六、三七	三五、四四九圓	三六、三七
鎭南浦	一五、六六六	二二、一一一	二二、一一一	二二、一一一
元山	一〇、一七五	二二、八八六	三二、〇〇三	三二、〇〇三
釜山	一〇、九四四	二二、三九九	二二、三九九	二二、三九九
群山	四〇、八四六	三三、五七二	五六、〇四六	五六、〇四六
木浦	八、七三三	二〇、四九五	三二、九一九	三二、九一九
馬山浦	九、二六六	五、〇八七	一七、三六一	一七、三六一
城津	五、〇八七	一〇、四〇九	一〇、四〇九	一〇、四〇九
新義州	四、一二七	四八、三五二	四八、三五二	四八、三五二
計	二五六、六六五	六六、八六四	七、一二五	八九七、七四九

輸出重要品表

品名	本旬分	一月以降累計
米	二二、〇八六圓	二二、八八六圓
大豆及小豆	四〇、〇四二	八四五、九六〇
鮮魚乾魚及鹽魚	一、五九九	五四、八三〇
人參	一、五九九	一、五九九
生牛	二五、七四四	二五、八六八

輸入重要品表

品名	本旬分	一月以降累計
鹽	一、二五五圓	一、二五五圓
清酒	五、二六二	四、二六二
打綿	一、五〇〇	八、二一五四
食鹽	三、一四三	三、一四三
生金巾及シーチング	二六、二四四	二六、二四四
日本木綿	二六、二四四	二六、二四四

(第三種郵便物認可) 明治四十一年三月十四日 京城新報 (土曜日) 第壹百一號

節婦表彰せらる

(手一つに家族七人を養ふ)

機織なる婦人の身を以て一家七人の生計を支ふるさへ容易の事にあらざるに尚ほ父母に仕へて孝に貧苦の裡に在りながら子供等に巨額の學校貯金をなさしめたるなど當に近来稀なる節婦と云ふべし埼玉縣北足立郡草加町字吉笹原荒物商亡竹太郎妻鹿瀬いよ(三十二)は同縣南埼玉郡川柳村大字南青柳農短沼彦右衛門の三女にて今より十八年前竹太郎方へ縁付たるが竹太郎には祖父佐治右衛門(六十)祖母くま(六十)ありて五畝二歩の宅地に八坪七合ばかりの平家を建て荒物商を營み居たりしも田舎の事とて賣るとこふ程貰れざれば竹太郎は常に小間物を脊負ひ近在へ行商をなし一ヶ月僅に十四五圓の利益を得て辛くも一家の糊口を支へ来りし内に夫婦の間に長女うの(九)二女くま(七)長男栄太郎(五)二男末次郎(三)の四人の子さへ儲げたれば只さへ乏き勝の上に益々貧を重しに不幸は更に憐なる一家を見舞て夫竹太郎は去卅二年九月中病氣に罹り卅一歳を期として歸らぬ旅に赴きたればいよいよ悲歎の涙に暮れ殊に父母は年老い子供は幼く物の役に立つものとては已れ只一人のみにて行末心許なき限りなれど早くも決心する處ありてか夫の死後は家の事は父母に委ねて自分は亡夫の殘せる十貫餘の小間物の荷を背負ひて吹雪の冬も蒸すが如き夏も一日として休むことなく毎日朝早くより夜晩くまで家を出で近郷近在を行商し其利益を以て一家七人の糊口を支へ且姑に孝養を盡し四人の子供には各教育を授け居たりしが其甲斐ありて長女うのは既に高等小學を卒業し目下裁縫の修業中にて其他栄太郎くに末次郎の三人も各成績好く小學校に勉強し居れる由にていよいよ健氣に起近郷の人々皆感じあへるが唯いよいよ其子供の教育に熱心なるのみならず其生計の苦しき間より尚ほ學校貯金をなさしめ栄太郎の貯金百圓を始めくに五十圓、末次郎二十圓等ありて誠に良妻賢母の龜鑑とすべきを以て云ふ同郡田埼玉縣知事より いよいよ金五圓を賞與せられたるを以て九日午前十時浦和町北足立郡役所にて其授與式を執行し其善行を表せられたりと

●京城の日本人戶數 南部警察署の調査せし所によれば本年一月現在の京城に住居する日本人は

戶數 三千八百五十六戶
人口 三萬三千六百十六人
内男 七千二百十四人
女 六千四百二人

にして客年十一月及び十二月現在數は左の如しと

十一月戶數 三千八百五十四戶
人口 三萬三千四百十六人

●歸順者の賞與 二月七日迄に各警察署に歸順者を加算する時は三千四百二十四名となる而して三月一日より同十日迄の間に於して之に郡守宜敏委員に歸順せる三百五十名並に遠兵隊に於て取扱ひたる四百八十三名及び甲山暴徒車當善以下五百八十三名の

内男	七千八百十二人	
女	六千三百三十四人	
十一月戶數	三千八百九十四戶	
人口	一萬三千四百八十四人	
内男	七千二百二十八人	
女	六千二百六十四人	

●退韓令命 廣島縣佐伯郡宮浦村の者にて本町九丁目に居住せる濱木直一(十七)が過日賭博を爲し居る所を捕へられ十日以内に正業に就くべく命令せられしことは當時の本紙に記載せし如くなるが直一は其の命令を遵奉せず正業に就かずして又もや賭博を爲し居る所を捕へられ左の如く退韓を命ぜられたり

濱本直一

當地方の風俗を紊亂するものと認め明治二十九年法律第八號清國及朝鮮國在留令第一條により本日より向一ヶ年間韓國に在留することを禁ず

明治四十一年三月十二日

●鋼峴分署の砲撃 昨日鋼峴分署にては警視鶴嶋記錄をして所轄内の日本人及韓人砲撃を施せしが其數男女共約五百人なり

●提灯行列に出ずとて拘引 去る十日の乾元節祝賀の爲め催せる漢城府民團の提灯行列には姥婢妙珍猫も杓子も我れも我れと五署内の人民何れも參列したので仲々の盛況なりしが此に妓生中には常夜生憎雪の降つたので最も寒威甚かりし爲め若し出て凍へ死でもしたら割に合はぬ話しとでも思つたか參列せざりしものもありとか例の光岡竹子に首つ丈陷り入み海鼠の樣になり居る法部大臣趙重應は此の事を聞き嘸と怒り出し此の目出度き日に雪の降つた位自分は亡夫の殘せる十貫餘の小間物の荷を背負ひて吹雪の冬も蒸すが如き夏も一日として休むことなく毎日朝早くより夜晩くまで家を出で近郷近在を行商し其利益を以て一家七人の糊口を支へ且姑に孝養を盡し四人の子供には各教育を授け居たりしが其甲斐ありて長女うのは既に高等小學を卒業し目下裁縫の修業中にて其他栄太郎くに末次郎の三人も各成績好く小學校に勉強し居れる由にていよいよ健氣に起近郷の人々皆感じあへるが唯いよいよ其子供の教育に熱心なるのみならず其生計の苦しき間より尚ほ學校貯金をなさしめ栄太郎の貯金百圓を始めくに五十圓、末次郎二十圓等ありて誠に良妻賢母の龜鑑とすべきを以て云ふ同郡田埼玉縣知事より いよいよ金五圓を賞與せられたるを以て九日午前十時浦和町北足立郡役所にて其授與式を執行し其善行を表せられたりと

●京城の日本人戶數 南部警察署の調査せし所によれば本年一月現在の京城に住居する日本人は

戶數 三千八百五十六戶
人口 三萬三千六百十六人
内男 七千二百十四人
女 六千四百二人

にして客年十一月及び十二月現在數は左の如しと

十一月戶數 三千八百五十四戶
人口 三萬三千四百十六人

●鋼峴分署の砲撃 昨日鋼峴分署にては警視鶴嶋記錄をして所轄内の日本人及韓人砲撃を施せしが其數男女共約五百人なり

●提灯行列に出ずとて拘引 去る十日の乾元節祝賀の爲め催せる漢城府民團の提灯行列には姥婢妙珍猫も杓子も我れも我れと五署内の人民何れも參列したので仲々の盛況なりしが此に妓生中には常夜生憎雪の降つたので最も寒威甚かりし爲め若し出て凍へ死でもしたら割に合はぬ話しとでも思つたか參列せざりしものもありとか例の光岡竹子に首つ丈陷り入み海鼠の樣になり居る法部大臣趙重應は此の事を聞き嘸と怒り出し此の目出度き日に雪の降つた位自分は亡夫の殘せる十貫餘の小間物の荷を背負ひて吹雪の冬も蒸すが如き夏も一日として休むことなく毎日朝早くより夜晩くまで家を出で近郷近在を行商し其利益を以て一家七人の糊口を支へ且姑に孝養を盡し四人の子供には各教育を授け居たりしが其甲斐ありて長女うのは既に高等小學を卒業し目下裁縫の修業中にて其他栄太郎くに末次郎の三人も各成績好く小學校に勉強し居れる由にていよいよ健氣に起近郷の人々皆感じあへるが唯いよいよ其子供の教育に熱心なるのみならず其生計の苦しき間より尚ほ學校貯金をなさしめ栄太郎の貯金百圓を始めくに五十圓、末次郎二十圓等ありて誠に良妻賢母の龜鑑とすべきを以て云ふ同郡田埼玉縣知事より いよいよ金五圓を賞與せられたるを以て九日午前十時浦和町北足立郡役所にて其授與式を執行し其善行を表せられたりと

●京城の日本人戶數 南部警察署の調査せし所によれば本年一月現在の京城に住居する日本人は

戶數 三千八百五十六戶
人口 三萬三千六百十六人
内男 七千二百十四人
女 六千四百二人

にして客年十一月及び十二月現在數は左の如しと

十一月戶數 三千八百五十四戶
人口 三萬三千四百十六人

●無法者の處刑 福岡縣築上郡西吉富村の者にて目下當地永樂町に居住する大工職松原常治(二十)といへるは曾つて毆打創傷罪の爲め福岡縣金救郡柳浦村の生れなる三井武(二十)を連れ水道會社に到り金三百圓を受取りこれを鞄に入れて武德に持たせ歸途中より三百圓在中の鞄を拐帶して逃走したるものと見て歸宅せず夫れより所在を索せしも今以て所在不明なりといふ

●材木の火事 一昨夜七時過明治町二丁目の富士商會材木置場より出火せしも其の者早く認めて消し止めたり原因は其日大工等が焚火をなし夕刻に水をかけて消し置きたりといへるも火氣の散り居たるものが鋸屑に燃え移りたるものゝ如し

●金銀の買入人處刑 岡山縣邑久郡邑久村の者にて京義線南川驛に居住する石工職雪上熊吉(三十)は木原伊太郎石原栄藏の兩人と開城西小門外居住場の西手に當る石材置場の傍らなる畑地に埋藏したる金銀を發見し法定の屆出をなさず西部新町里大興洞なる木原伊太郎宅に於て其の内二百十七個の分與を受け其の内二百十七個の分與を受け其の内二百十七個の分與を受け

齒科全般の治療
米國最新式義齒
米國齒科醫學博士 女醫 中村安子
京城本町六丁目（歌舞伎町）

京城明治町一丁目（漢城病院向筋入）
高等下病 日の出館
弊館は設備完全にして最も閑靜なり
弊館は叮嚀懇切を以て特色とす

前院長橋本三男氏後任トシテ今般元福岡醫科大學ラルノ醫員タリシ百合野寅松氏本日ヨリ診療ニ從事セ
一般患者ニ從事ス
新王城大漢門前
日韓病院
本院ハ最新治療法ヲ旨トシ獨特トス
腫物、婦人病ニハ特ニビール氏ノ鬱血療法ヲ施ス
梅毒、癩病、下疳ハ本院ノ

極材木、竹類 蠟燭
座敷廻り諸材料特に注意取揃あり
右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候
間多少に不拘御用命願上候
小森材木部
京城旭町一丁目
電話七四四番
本宅四〇五番

内外書籍新聞雜誌
和洋雜貨日用品
文房具學校用品
大阪朝日新聞 同 毎日新聞 一ヶ月四十五錢
京城本町三丁目 一ヶ月四十五錢
太平田商店
（電話百十五番）

熊平製造金庫
韓國販賣部
京城本町一丁目
熊平商店
電話六二四番
東京 竹内製金庫
大阪二重蓋並ニ同轉式 消火器

中折帽子、靴下各種
ブローチ及ピン
大割引販賣
キヤラコ各種
小供洋服各種
長谷川町一の五四
和加奈商會

一袋 金三十錢
開業二周年紀念 文房具 福袋發賣
●自三月十五日至三月二十日●
京城本町二丁目 日韓書房（電話一四七番）

營業科目
活版 銅版
石版 活字鑄造
木版 彫刻
コロタイプ版
寫眞版
諸報簿
製本裝釘
今般日韓印刷株式會社ヲ改稱致シ諸般ノ業ニ新來漢城出張員ノ便宜ヲ計リ
藝御愛顧ニ預ル本組上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）
東京出張所 東京麻布區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

齒科診療
漢城病院を辭して開業す
前東京醫科大學勤務 統監府囑托 東京共立齒科醫學校講師たりし
飯塚徹
仁川分診所主任として 氏を聘す
藤井庄次郎
京城診療所 南山町三丁目第一銀行横五軒目
仁川分診所 仁川病院前の角
毎五、十日出張
診療時間 午前八時より午後四時迄 夜間七時より八時迄 毎五、十日京城新來休診

廣告
一槇製大角風呂三人入り
一東京寄木細工物、塗物、一閑張類數個
但菓子器、卷煙草箱、硯箱、灰皿類
右は京城博覽會出品殘物にして今回同品に限りメチヤ〳〵大安賣致候に付品切にならざる中早く御買求下され度候
日用雜貨 荒物御問屋
京城南大門元保稅市場
大谷支店
（電話三四六番）

英米煙草會社製紙
パイレート
ピオ
サハ
イロ
クル
バムブー 日豆
BAMBOO CIGARETTES WITH MOUTHPIECES BRITISH CIGARETTE CO. LTD.
ドラムヘッド
ルーラー
滿月
ピンヘッド
リンダ
韓國總代理店 仁川倉知商會 電話一一三〇番

京城
佐野商店
林田商店
梶原商店
藤富商店

仁川
南力商店
山口商店
藤岡商店
松平商店
加來商店

平壤
齋藤商店

釜山
高瀨支店
內山商店
谷商店
萩野商店
淡盛商會

元山
木平商店
高瀨支店

群山
橫山商店

木浦
高瀨支店
藤森商店
丸岡商店

鎭南浦
齋藤支店
秋田商會支店

安東縣
齋藤洋行
秋田商會支店

消化劑 **タカヂアスターゼ**
本劑は工學博士高峰讓吉氏の發見に係る澱粉消化新藥なり
我醫學諸大家が治療上に於ける本劑の効果に就き發表せられたる實驗報告を集載せる「タカヂアスターゼ實驗報告集」醫家の要求に從ひ無代郵送す
本劑は粉末錠劑各大小容器入として各地藥舗に販賣す
類似品あり必ず高峯氏タカヂアスターゼと御指定をこふ

滋養劑 **グリコナール錠**
本劑は醫學博士北里柴三郎氏指導の下に佐伯矩氏が牡蠣の滋養成分に就き研究の結果創製せるものなり本劑は滋養劑として肺病及一般衰弱者に必適なるのみならず自ら心臟を强め盜汗を制止し速かに體力を恢復し元氣を旺盛ならしむる特異の功能ある事を多數の醫學者に證明せられたり
（本劑の說明書は御申越に從ひ呈送す）

東洋發賣元 東京 三共藥品合資會社
韓國一手卸元 仁川 **倉知商會** 電話一一三三〇番
京城 近藤貴生堂 古城貴化堂 新井藥房支店 仁川 北島藥店 新井藥店 松尾藥店
其他到る處の藥店にて錠劑粉末何れも販賣仕候